

○視覚障害者等を対象にした読書に関するアンケート調査結果

- 1 実施者
横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課
- 2 対象者
視覚による表現の認識が困難な方（「視覚障害者」「読字に困難がある発達障害者」「寝たきりや上肢に障害がある等の理由により書籍を持つことやページをめくることが難しい、あるいは眼球使用が困難である身体障害者」）
- 3 実施期間
令和4年6月22日(水)～8月29日(月)
- 4 調査方法
横浜市立特別支援学校や横浜市立図書館、協力団体を通じて、上記の対象者（保護者、関係者を含む）へメール又は郵送でアンケート調査の回答を依頼
- 5 協力団体
横浜市視覚障害者福祉協会、認定NPO法人EDGE、横浜なないろの会、一般社団法人読み書き配慮、横浜市身体障害者団体連合会
- 6 回答数
75件

問1 あなたのお住まいを、以下の選択肢から選んでください。

横浜市内	51件	68.0%
横浜市内外	24件	32.0%

問2 あなたの年齢を、以下の選択肢から選んでください。

※本人以外の保護者や介助者の方がご回答の場合は、本人の状況についてご回答いただいています。

回答	全体（75件）		読み書きに困難がある		目が見えない、見えにくい		手や腕が不自由		その他	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
10代以下	39	52.0%	26件	83.9%	7件	20.6%	2件	50.0%	4件	66.7%
20～30代	5	6.7%	3件	9.7%	2件	5.9%	0件	0.0%	0件	0.0%
40～50代	16	21.3%	0件	0.0%	14件	41.2%	1件	25.0%	1件	16.7%
60～70代	12	16.0%	0件	0.0%	11件	32.4%	0件	0.0%	1件	16.7%
答えたくない	2	2.7%	2件	6.5%	0件	0.0%	0件	0.0%	0件	0.0%
無回答	1	1.3%	0件	0.0%	0件	0.0%	1件	25.0%	0件	0.0%

問3 あなたの障害の種類を、以下の選択肢から選んでください。

読み書きに困難がある（ディスレクシア）	31件	41.3%
目が見えない（全盲）	23件	30.7%
目が見えにくい（ロービジョン）	11件	14.7%
手や腕が不自由（上肢障害や全身性障害等）	4件	5.3%
その他	6件	8.0%

問4 次の「視覚障害者等の方が利用しやすい書籍等」を利用したことがありますか？

マルチメディアデジ

回答	全体（75件）		読み書きに困難がある		目が見えない、見えにくい		手や腕が不自由		その他	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
利用したことがある	27件	36.0%	10件	32.3%	15件	44.1%	2件	50.0%	0件	0.0%
利用したことがない	35件	46.7%	15件	48.4%	15件	44.1%	1件	25.0%	4件	66.7%
それがなにかわからない	12件	16.0%	6件	19.4%	4件	11.8%	1件	25.0%	1件	16.7%
無回答	1件	1.3%	0件	0.0%	0件	0.0%	0件	0.0%	1件	16.7%

音声デジター

回答	全体 (75件)		読み書きに困難がある		目が見えない、見えにくい		手や腕が不自由		その他	
			件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
利用したことがある	38件	50.7%	9件	29.0%	27件	79.4%	1件	25.0%	1件	16.7%
利用したことがない	30件	40.0%	19件	61.3%	5件	14.7%	2件	50.0%	4件	66.7%
それがなにかわからない	6件	8.0%	3件	9.7%	1件	2.9%	1件	25.0%	1件	16.7%
無回答	1件	1.3%	0件	0.0%	1件	2.9%	0件	0.0%	0件	0.0%

音声読み上げの電子書籍

回答	全体 (75件)		読み書きに困難がある		目が見えない、見えにくい		手や腕が不自由		その他	
			件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
利用したことがある	27件	36.0%	9件	29.0%	18件	52.9%	0件	0.0%	0件	0.0%
利用したことがない	43件	57.3%	21件	67.7%	13件	38.2%	3件	75.0%	6件	100.0%
それがなにかわからない	4件	5.3%	1件	3.2%	2件	5.9%	1件	25.0%	0件	0.0%
無回答	1件	1.3%	0件	0.0%	1件	2.9%	0件	0.0%	0件	0.0%

オーディオブック

回答	全体 (75件)		読み書きに困難がある		目が見えない、見えにくい		手や腕が不自由		その他	
			件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
利用したことがある	25件	33.3%	11件	35.5%	13件	38.2%	0件	0.0%	1件	16.7%
利用したことがない	42件	56.0%	20件	64.5%	15件	44.1%	3件	75.0%	4件	66.7%
それがなにかわからない	8件	10.7%	0件	0.0%	6件	17.6%	1件	25.0%	1件	16.7%

問5 音声デジターやマルチメディアデジター等のデータを、インターネット上で、無料でダウンロードできる「サピエ図書館」や「国立国会図書館」を利用したことがありますか。

回答	全体 (75件)		読み書きに困難がある		目が見えない、見えにくい		手や腕が不自由		その他	
			件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ある	20件	26.7%	1件	3.2%	18件	52.9%	0件	0.0%	1件	16.7%
ない	30件	40.0%	14件	45.2%	11件	32.4%	2件	50.0%	3件	50.0%
それがなにか知らなかった	24件	32.0%	16件	51.6%	4件	11.8%	2件	50.0%	2件	33.3%
無回答	1件	1.3%	0件	0.0%	1件	2.9%	0件	0.0%	0件	0.0%

問5-2 問5で「ない」「それがなにか知らなかった」と答えた方に聞きます。今後、サピエ図書館や国立国会図書館のインターネットサービスを利用したいと思いますか。

回答	全体 (54件)		読み書きに困難がある		目が見えない、見えにくい		手や腕が不自由		その他	
			件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
思う	31件	57.4%	18件	60.0%	8件	53.3%	3件	75.0%	2件	40.0%
思わない	6件	11.1%	2件	6.7%	4件	26.7%	0件	0.0%	0件	0.0%
分からない	16件	29.6%	10件	33.3%	2件	13.3%	1件	25.0%	3件	60.0%
無回答	1件	1.9%	0件	0.0%	1件	6.7%	0件	0.0%	0件	0.0%

問5-3 問5-2で「思わない」と答えた方に聞きます。インターネットサービスを利用したいと思わない理由を、以下の選択肢から選んでください。

回答	全体 (6件)		読み書きに困難がある		目が見えない、見えにくい		手や腕が不自由		その他	
			件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
インターネットサービスの使い方がわからないから(難しいから)	2件	33.3%	0件	0.0%	2件	50.0%	0件	0.0%	0件	0.0%
インターネット環境がないから	1件	16.7%	0件	0.0%	1件	25.0%	0件	0.0%	0件	0.0%
無回答	1件	16.7%	0件	0.0%	1件	25.0%	0件	0.0%	0件	0.0%
その他	2件	33.3%	2件	100.0%	0件	0.0%	0件	0.0%	0件	0.0%

問6 サピエ図書館や国立国会図書館などのインターネットサービスの利用方法を取得するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（複数回答可）

回答	全体（75件）		読み書きに困難がある		目が見えない、見えにくい		手や腕が不自由		その他	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
居宅における習得支援	35件	46.7%	16件	51.6%	16件	47.1%	1件	25.0%	2件	33.3%
窓口や電話での相談対応	25件	33.3%	5件	16.1%	17件	50.0%	0件	0.0%	3件	50.0%
講習会の実施	13件	17.3%	4件	12.9%	8件	23.5%	0件	0.0%	1件	16.7%
特にない	8件	10.7%	3件	9.7%	2件	5.9%	3件	75.0%	0件	0.0%
その他	7件	9.3%	3件	9.7%	2件	5.9%	0件	0.0%	2件	33.3%

問7 公共図書館（市立図書館）の障害者サービス（録音図書・点字図書などの貸出サービス、対面朗読など）を利用したことがありますか。

回答	全体（75件）		読み書きに困難がある		目が見えない、見えにくい		手や腕が不自由		その他	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ある	17件	22.7%	0件	0.0%	15件	44.1%	1件	25.0%	1件	16.7%
ない	36件	48.0%	14件	45.2%	15件	44.1%	3件	75.0%	4件	66.7%
サービス対象となっていることを知らなかった	14件	18.7%	12件	38.7%	2件	5.9%	0件	0.0%	0件	0.0%
それがなにか知らなかった	7件	9.3%	5件	16.1%	1件	2.9%	0件	0.0%	1件	16.7%
無回答	1件	1.3%	0件	0.0%	1件	2.9%	0件	0.0%	0件	0.0%

問8 図書や雑誌の録音、点訳、貸出などを行う「点字図書館」を利用したことがありますか。

回答	全体（75件）		読み書きに困難がある		目が見えない、見えにくい		手や腕が不自由		その他	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ある	21件	28.0%	0件	0.0%	20件	58.8%	0件	0.0%	1件	16.7%
ない	41件	54.7%	22件	71.0%	10件	29.4%	4件	100.0%	5件	83.3%
利用対象となっていることを知らなかった	5件	6.7%	5件	16.1%	0件	0.0%	0件	0.0%	0件	0.0%
それがなにか知らなかった	6件	8.0%	4件	12.9%	2件	5.9%	0件	0.0%	0件	0.0%
無回答	2件	2.7%	0件	0.0%	2件	5.9%	0件	0.0%	0件	0.0%

問9 普段、どのように情報を入手されていますか（複数選択可）

回答	全体（75件）		読み書きに困難がある		目が見えない、見えにくい		手や腕が不自由		その他	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
インターネット	59件	78.7%	28件	90.3%	25件	73.5%	2件	50.0%	4件	66.7%
家族・知人・介助者	55件	73.3%	22件	71.0%	26件	76.5%	4件	100.0%	3件	50.0%
テレビ	49件	65.3%	19件	61.3%	25件	73.5%	3件	75.0%	2件	33.3%
書籍・新聞・雑誌	24件	32.0%	8件	25.8%	15件	44.1%	1件	25.0%	0件	0.0%
メール（メールマガジン等）	26件	34.7%	6件	19.4%	20件	58.8%	0件	0.0%	0件	0.0%
ラジオ	27件	36.0%	4件	12.9%	23件	67.6%	0件	0.0%	0件	0.0%
デイジー図書	24件	32.0%	3件	9.7%	20件	58.8%	0件	0.0%	1件	16.7%
点字	13件	17.3%	0件	0.0%	12件	35.3%	0件	0.0%	1件	16.7%
その他	1件	1.3%	1件	3.2%	0件	0.0%	0件	0.0%	0件	0.0%

問10 読書を行う上での困りごとや行政に対するご意見がありましたらご記入ください。

【主なご意見（要旨）】

視覚障害者等の方が利用しやすい書籍等について	障害の種類
雑誌記事などのテキストファイルをオンラインで提供を受けられれば、読書の幅が広がる。	視覚障害
書籍を購入後、テキストデータを提供する出版社も出てきており、今後はこのような出版社が増えてくることを期待したい。	
読みたい本はデジタイズ図書になっており、音訳サービスもあるので、困っていない。	
パソコンやスマートフォンを使い慣れない世代としては、ITCの支援体制の強化が望まれる。	
音声図書はどのように探したらいいのかわからない。	発達障害
関心がある図書をすべて購入すると負担が重く、気軽に利用できるとよい。	
本を持ち続けたりページをめくることが難しく、斜面台を使っても限界があり、タブレットを使って本を読んでいる。	身体障害

公共図書館について	障害の種類
オンラインでも利用できるサービスを拡充して、図書館に行かなくても利用できるものを増やしてほしい。	視覚障害
横浜市に点字図書館の設置を切望する。それができるまでは、まずは中央図書館の音訳、点訳、拡大文字の蔵書の充実、関連機器の設置の拡充を早急実施してほしい。	
音声ペン対応の絵本を増やしてほしい。その本を借りるときには一緒に音声ペンを図書館などで貸し出してほしい。	発達障害
市立図書館のサービス（特に、Zoomによる対面朗読）や対象者拡大により、利用しやすくなったと思うが、その詳細や手順など周知が足りない。	その他

学校（図書館）について	障害の種類
盲特別支援学校の図書館を市民向けに開放することを検討願いたい。	視覚障害
学校の先生がディスレクシアについて学ぶ機会を設けてほしい。	発達障害
授業での本読みなど、学校における配慮や支援が必要。	

読書バリアフリーに関する情報について	障害の種類
多様な人たちに対して最大限障害のない情報発信をするべき。複数の媒体で情報発信をして、それぞれの状況に合った媒体を選べるのが大切である。	視覚障害
いろいろなサービスがあることも知らず、障害のある息子への読書の知識をつけることを諦めていた。	
あまりにもサービスの周知が乏しく、使う使わない以前の問題である。	発達障害
電子書籍について、講習会や個別指導により詳しく知りたい。講習会は方法として、オンライン、または定期的な開催が望ましい。	その他

その他	障害の種類
読み書きに困難があることに気づかれず、合わない学習方法により自信をなくし、学習に取り組めなくなる子どもがなくなるよう、ディスレクシアやLDについて、理解が広がることを望む。	発達障害
読み書きが困難と伝えると知的には問題がないにもかかわらず、子どもに教えるような対応に変わることが多く不快に思うことがある。	
脳外傷による高次脳機能障害で、文字の揺らぎ、色覚過敏、注意障害により読書がつらい。図書館など静かな場所をもっと増やしてほしい。	その他